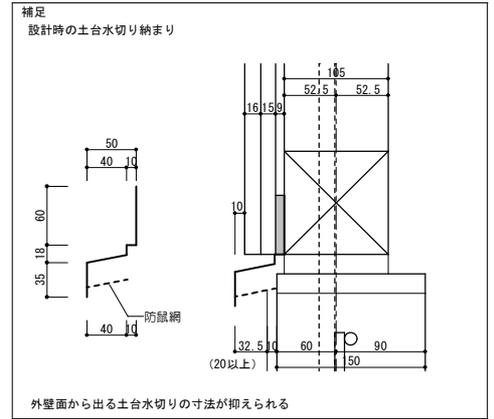
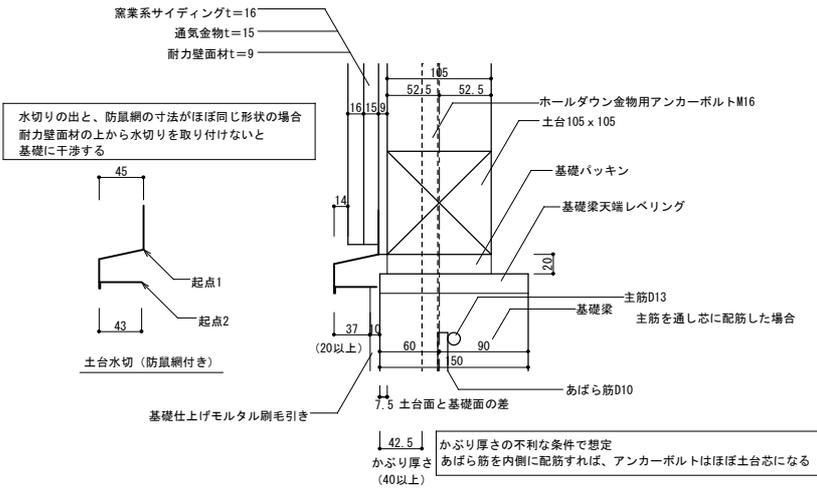


土台水切りの形状と、基礎梁芯振り分け寸法の関係について

不利な条件として、土台105×105で検討
 土台120×120になれば、土台水切りが外部側によるので有利になる



■検討結果一覧

	基礎芯振り分け (75, 75)		基礎振り分け60, 90	
	土台水切を土台に取り付ける場合	土台水切を面材に取り付ける場合	土台水切を土台に取り付ける場合	土台水切を土台に取り付ける場合
起点1を土台下端合わせて土台水切を取り付ける場合	<p>NG</p> <p>アンカーボルトが土台芯から大きくずれる可能性あり</p> <p>床下換気面積不足</p> <p>NG! 土台水切が基礎に干渉</p>	<p>NG</p> <p>アンカーボルトが土台芯から大きくずれる可能性あり</p> <p>床下換気面積不足</p> <p>NG! 土台水切が基礎に干渉</p>	<p>NG</p> <p>アンカーボルトが土台芯から大きくずれる可能性あり</p> <p>床下換気面積不足</p> <p>NG! 土台水切が基礎に干渉</p>	<p>△</p> <p>耐力壁が筋かいの場合は干渉する</p>
起点2を基礎仕上がり天端合わせて土台水切を取り付ける場合 天端レベリング材の施工精度が求められる	<p>NG</p> <p>アンカーボルトが土台芯から大きくずれる可能性あり</p> <p>床下換気面積不足</p>	<p>△</p> <p>アンカーボルトが土台芯から大きくずれる可能性あり</p> <p>ホールダウン用アンカーボルトの施工に注意</p>	<p>○</p>	<p>○</p>

■まとめ

土台水切りの床下換気面積の確保、基礎天端レベリングの施工精度、ホールダウン金物用アンカーボルトの施工精度および、基礎配筋の施工精度を考慮すると、設計時の土台水切り形状および、基礎梁は60, 90振り分けで設計した方が仕上りのデザイン上も綺麗だと思われる。◎

■補足

土台水切りの床下換気面積については、基礎パッキンの有効換気面積を踏まえて、モルタル刷毛引きが防鼠網をいくらかふさいだとしても、床下換気面積は確保できる可能性があるため、別途確認のうえ判断できるので、上記検討結果一覧によらない場合もある。

土台水切りの形状は、基礎、耐力壁、床下換気量の確保、意匠性を総合的に検討して決定する必要がある。